

放課後等デイサービス 夢門塾川崎京町 自己評価表

○本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業者の方に、事業所の自己評価していただくものです。
 「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業者の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

事業所名 夢門塾川崎京町

公表日 2026年 1月

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	3	・子どもの配置と活動の場所を考慮してスペースを作っている。	スペースについては、引き続き適切に確保していくよう努める。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	5	・利用者数によって調整している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	・パーテーション等を用いて工夫をしている。	入口に段差があるためバリアフリーとは言えませんが、安全に利用できるよう工夫してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	・定期的に清掃、消毒を行っている。	建物の経年により壁紙の剥がれ等が見られるため、必要に応じて修繕や環境整備を行い、快適な環境維持に努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	・パーテーション等を用いて工夫をしている。	時間帯によっては難しいこともありますが、できる限り個別の空間を確保できるよう工夫してまいります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	・職員間で情報を共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・評価集計後ミーティングを行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員で話し合う機会を設けている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		外部評価が実施された際には、助言を活かし、取り組みの充実に努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	2	・全体研修を行っている。	一人ひとりに合わせた対応に課題があるため、今後も工夫してまいります
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・月に1度、夢通信を配布し公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	1	・半年に1度、保護者様と面談を行っている。	面談は行っていますが、ニーズ把握が十分でない部分もあるため、より丁寧に関わってまいります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・月に1度、支援ミーティングを行っている。	時間の都合上、参加が難しい場合もありますが、非常勤職員にも情報が行き届くよう工夫してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・職員間で共有し、計画に沿った支援を行っている。	個別支援計画の共有機会を設けられるよう努めてまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	・提供記録への記入を行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	・5領域を踏まえて個別支援計画を作成している。	日々の支援と計画の結びつきに課題があるため、今後も意識して取り組んでまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	・職員間で話し合いを行って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・新しいことに挑戦出来るよう工夫をしている。	活動内容の幅を広げられるよう工夫に努めてまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	2	・学習時間などは個別の活動になっている。	時間や職員体制の都合で難しい部分もありますが、できる範囲で個別活動を取り入れてまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝礼後に情報伝達は行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	・個々の状況に応じて情報共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・記録は行っている。	記録は行っていますが、今後はより活用できるよう工夫してまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年ごとにモニタリングを行っている。	職員間での協議を増やし、チームでの判断ができるよう努めてまいります。
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	5	0	・夢門塾の掲げている3本柱を組み込んでいる。		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	・気持ちに寄り添うようにしている。	児童の自己選択を大切にできるよう、職員が余裕を持って関わる環境づくりに取り組んでまいります。	
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	1	・内容を理解した職員が会議に参画している。		
27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2	・関係医療機関と提携を行っている。		
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・必要に応じて連絡を取り、連携を行っている。		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		事例が発生した際に速やかに対応できるよう、あらかじめ準備と体制の整備に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2		就労移行時には関係機関と連携し、円滑な移行に努めてまいります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		現状では関係機関との連携が十分に取れていませんが、今後は適切に連携できる体制づくりに努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	3	1		機会があれば、検討して取り入れてまいります。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		時間が合えば参加できるよう努めていますが、開催時間帯が遅いため参加が難しい場合もあります。今後は可能な範囲で参加機会を確保できるよう工夫してまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時やコドモンを活用し、情報共有を行っている。	ゆっくりお話することが難しい場合もありますが、できるだけ丁寧に対応してまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	・保護者様参加型のイベントを行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	・契約時に書面を活用しながら説明を行っている。	職員全員が適切に説明できるよう体制整備に努めてまいります。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・面談の際に意向を確認している。	面談は行っていますが、児童の気持ちを十分に汲み取れていない部分もあるため、今後はより丁寧に関わってまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1	・作成前に保護者と面談を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・保護者様からの相談には、面談などを行い、丁寧に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・夏祭りに保護者様にもご参加いただきました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・全職員で共有し再発防止に努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・月に1度、夢通信を配布し発信を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・全職員が細心の注意をもって対応している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・言葉だけではなく絵カードなども用いて伝達を行っている。	言葉に加え、絵カード等を用いた伝達を引き続き行なってまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	・今朝、外の清掃を行っている。	今年度は参加が難しい状況でしたが、今後参加できる機会を検討してまいります。
	非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・年に2回、各種事態に備えた避難訓練を実施している。
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・半年に1回以上行っている。	
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に必ず確認を行っている。	
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		現在、該当する児童はいませんが、該当時には適切に対応できる体制を整えてまいります。
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	・安全管理を徹底した上で、児童に対する支援を行っております。	
51		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	・書面にて周知を行っている。	
52		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・書面を活用し、全職員へ共有を行っている。	共有した内容を基に、再発防止に取り組んでいます。
53		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・年に2回、研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・契約時に説明を行うとともに、身体拘束を行った際には状況を記録し、該当する児童の保護者様へ適切に報告を行っている。		
保護者様評価、自己評価についてまとめ						
<p>・保護者様からいただいたご意見を真摯に受け止め、教室運営の改善に生かすとともに、職員間での情報共有や改善活動を継続的に行なってまいります。</p> <p>・職員が心身ともに健康で、児童と共に笑顔あふれる教室づくりに努めてまいります。</p>						